

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年10月15日

計画の名称	きれいな小川とくらしでまちを元気にする能勢町下水道（その2）												
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	能勢町												
計画の目標	下水道普及率の向上、安心・安全・快適な暮らしの確保を目指す。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	576	A	575	B	0	C	1	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.17	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H27当初	H29末	H31末
1	未普及地区の下水道整備を推進し、普及率を21.5%（H27）から25.4%（H31）に増加させる。 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口（人）／総人口（平成27年3月末）：11,116（人）、（平成29年3月末）：10,527（人）	22%	25%	25%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	能勢町	直接	能勢町	管渠(汚水)	新設	能勢処理区東山辺地区外の汚水管渠整備	200~75汚水管L=5.0Km	能勢町						390	-	
	A07-002	下水道	一般	能勢町	直接	能勢町	管渠(汚水)	改築	能勢処理区上山辺地区外の施設計画策定	延長L=9.9Km	能勢町						8	-	
	A07-003	下水道	一般	能勢町	直接	能勢町	管渠(汚水)	新設	能勢処理区上山辺地区外の汚水管渠整備	200他汚水管L=9.0Km	能勢町						138	-	
	A07-004	下水道	一般	能勢町	直接	能勢町	-	改築	能勢処理区ストックパルクメント計画策定	処理場、管路施設A=160ha	能勢町						39	-	
												小計						575	
												合計						575	

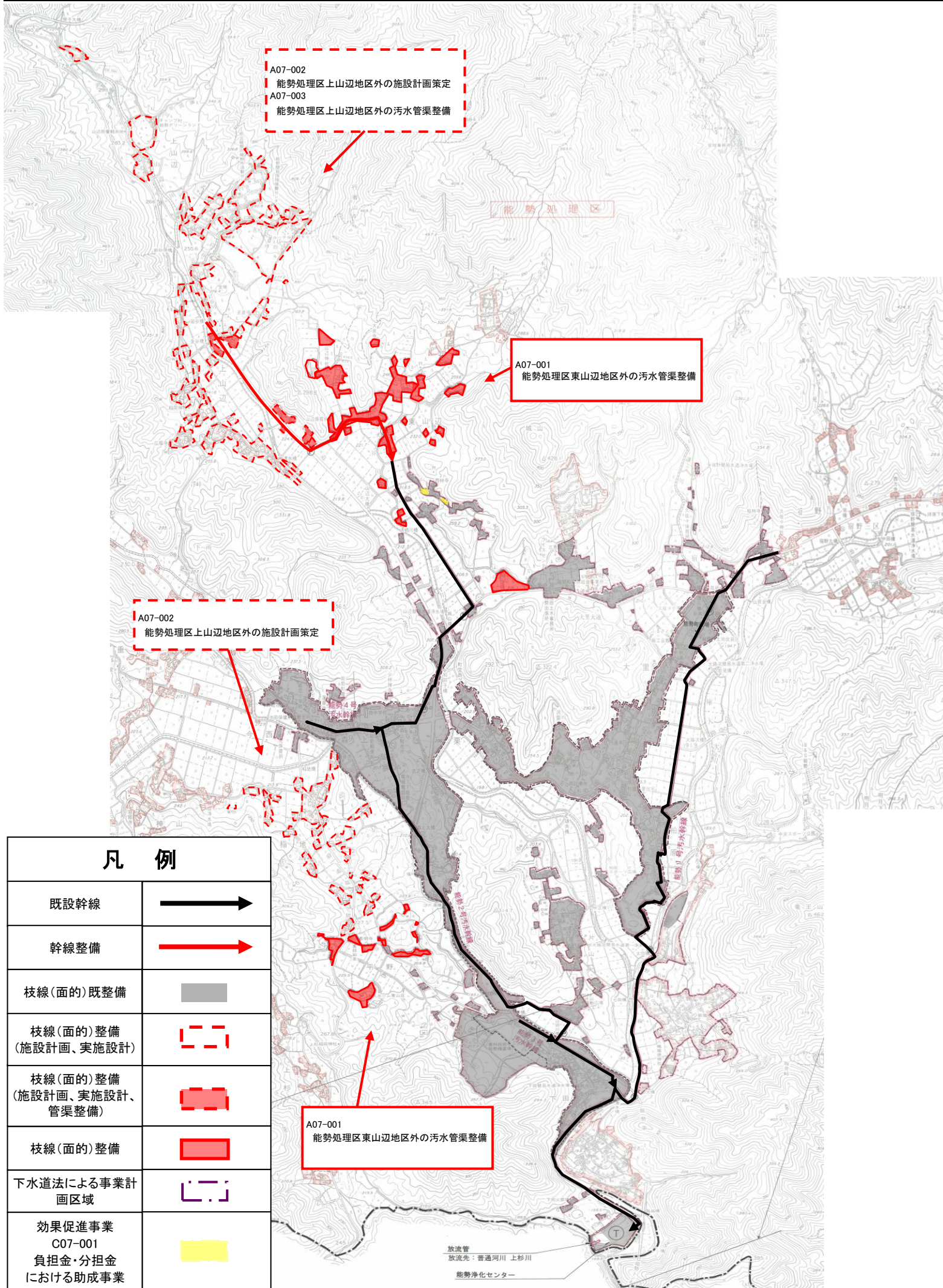
C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	C07-001	下水道	一般	能勢町	間接	個人	-	-	負担金・分担金における 助成事業	合併浄化槽切替助成10戸	能勢町						1		-
		公共下水道処理区域内で供用開始後3年以内に合併浄化槽から下水道に切替を行った際には、住民に助成（10万円/件）を行う事により下水道への接続促進を図る。																	
											小計						1		
											合計						1		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
能勢町環境創造部にて事後評価書（案）を作成の上、パブリックコメントを実施	令和2年度
	公表の方法
	能勢町ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・東山辺・平野地区においては、概ね計画通り管渠整備が完了し、未普及地区の解消が図られた。 ・上山辺地区においては、概ね計画通り施設計画策定及び一部の管渠整備が完了し、未普及地区の解消が図られた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道普及率の向上により、公共用水域の水質保全が図られた。 ・合併浄化槽からの切替助成により、下水道への接続促進が図られた。
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・未普及地区の管渠整備を推進し、安心・安全・快適な暮らしの確保を目指す。 ・下水道普及率の向上を推進し、公共用水域の水質保全を図る。 ・ストックマネジメント計画策定については更新時期を考慮し、令和7年度以降の次期計画にて検討する。 	

計画の名称	きれいな小川とくらしでまちを元気にする能勢町下水道（その2）		
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度（5年間）	交付対象	能勢町



凡 例	
既設幹線	→
幹線整備	→
枝線(面的)既整備	■
枝線(面的)整備 (施設計画、実施設計)	⋯
枝線(面的)整備 (施設計画、実施設計、 管渠整備)	■
枝線(面的)整備	■
下水道法による事業計 画区域	⋯
効果促進事業 C07-001 負担金・分担金 における助成事業	■